

働かされる被害者意識を捨てる

# 楽働への道



大好評により  
改定版決定

**今**、「働く」とは何か！？を見直す環境が訪れている。  
「働く」＝「ハタラク」、即ち「傍を楽にする」ことである。  
自信を振り返ってみても、調子が悪くなった時の心理は、いわゆる”被害者意識”が出た時である。

**過去**、数千社の中小・中堅企業の「勤め人」とコンサルテーションを通じ、触れ合ってきたが、「勤め人」がやる気を失い、能力を伸ばせないのは100%の確率で「働き」に対する考え方・基本精神が崩れた時だ。

本書は、可能な限り多くの人々に「働き考」「働き心」をより良く考えて頂きたいという思いから綴ったものである。



著者

株式会社ソルネット経営代表 初 暁(齊藤 公一)

## 目次…

～楽働への道「はじめに」より～

1. 働き甲斐を求めて
2. 働く時間の少なさ発見
3. 働かされるのはやめよう
4. 働き上手は遊び上手・恋上手
5. 休養は働きのエネルギー
6. 給与、報酬は付加価値に比例する
7. 転職はバラ色か！？
8. 働き人へのエール

## 講演受講者の喜び・感動の声

印象に残っている言葉は、「働かされるのではなく使命を持って自らの意思で楽しく働く」という言葉です。社会人1年目で働く意味など考えて仕事をしていなかったもので、これからは自分のため、会社のため、そして1番はお客様のために仕事をしていこうと思いました。

自信を持つことの大切さを教わり、その自信が持てる理由「継続して何かに取り組んでいるから」と言われ「そうか！！」と思いました。

斎藤先生の講演を聞かせていただき、沢山の感情が込みあがり感動しました。仕事面はもちろん、プライベートでも沢山役立つことが多く、先生にお会いすることができて、本当に助けられ、出会いに感謝しております。

新しい人材・若い世代が多く入社している今現在。「全ては自分。能動的に当事者であれ」というメッセージが深くささり、今後の彼らの人生において”金言”になる事を祈ります。